

2021年度 北陸ESD推進コンソーシアムの活動(予定)

1. 主幹団体

金沢大学

2. 事務局

金沢大学附属教育実践支援センターに事務局を置く。

3. 運営体制

(1)SDGs・ESD 推進検討会議(コアメンバー会議) 月1回 (事務局主催)

(2)北陸SDGs・ESD 推進連絡協議会 年3回 (石川県ユネスコ協会主催)

(3)研修会・交流会・報告会(オンライン)

①北陸(+信州など)実践交流会 12月(児童・生徒の発表も含む)

②eラーニング教材制作協力者交流会 8月(教員)

③成果報告会 2月

(4)HPの改築を終了し6月1日より新しいHPをスタート

フェイスブックの管理と運用を開始

(5)支援体制

①北陸3県でコーディネーターの委嘱する。

②北陸におけるSDGs・ESDの教育実践や研修等に、コーディネーターを講師として派遣したり教材提供したりするなどの支援を行う。

4. 補助金等

(1)令和3年度ユネスコ活動費補助金(金沢大学)

—SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業—

(2)2021年度地球環境基金助成金(石川県ユネスコ協会)

5. 活動内容(概要)

(1)会員の主体的な事業展開を重視する。

・各会員に年度ごとのESD・SDGs関連の事業・授業等の実施計画(6月)及び実施結果(12月)について調査し、その計画及び結果について会員間において、HPや交流会・成果報告会等で発信・共有する。

・北陸ESD推進コンソーシアムの教材の利活用の推進

・会員主催の研修会等でのコーディネーターの利活用の推進

・会員主催の事業における会員相互の参加参画の促進

・会員相互の連携、協力の推進

(2)令和3年度ユネスコ活動費補助金

—SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業—

①【教員養成及び支援事業】

・SDGs・ESD実践ガイドブックやeラーニング教材(基礎編)、(実践編)を活用した校内研修会等での教員研修と指導助言

・北陸の大学、高専等での授業におけるSDGs・ESD教材を活用したカリキュラムの充実

・教員養成課程、教職大学院課程(富山大学、金沢大学、福井大学)におけるSDGs・ESDを組み込んだ授業

・教員免許状更新講習におけるSDGs・ESD研修

②【SDGs達成に向けたeラーニング教材(実践編)開発事業】

6月から制作協力者、協力校を公募する。HPに公募の案内を掲示するとともに、北陸3県のユネスコスクール等に通知文を発出する。

・教材①SDGs・ESDを推進するホールスクール・アプローチに向けた教育実践

総合的な学習の時間における教育実践と共に、教科における教育実践も制作する。

・教材②国内外の学校交流モデル

・教材③学校と企業等をSDGsでつなぐ新しい職場体験活動等

- ・教材④社会教育施設と連携した SDGs・ESD に関わるプログラム等
- ・教材⑤学生や大学院生が教育実践に学び e-ラーニング教材を作成
- ※制作プロセス及び活用プロセスにおける校内外の研修機会を創出する。
- ※e ラーニング教材（基礎編）を改定する。
- ※上記の中から英語版をフルバージョンとテロップタイプの 2 本程度制作する。

- ③周知普及事業(全国・中部レベルでの発信、北陸での実践交流)
- ④ 外部評価については、2020 年度の仕組みを継続する。

(3)2021 年度地球環境基金助成金

「北陸における SDGs達成に向けた ESD プログラム開発」

- ①北陸版 SDGs ガイドの開発・普及・改訂
- ②SDGs 達成に向けた ESD プログラムの開発・普及
- ③SDGs・ESD 普及セミナー
- ④北陸における SDGs・ESD 推進のためのプラットフォーム構築

6. その他

- (1)ESD 地域拠点及び北陸未来都市との連携を進める。
- (2)北陸 3 県のユネスコスクール加盟申請校を支援する。

7. 年間計画

- 5 月 北陸 3 県における調査・説明活動
- 6 月 事業開始
- 6 月～11 月 各種事業の展開
- 7 月 16 日(金)午後 第 1 回北陸 SDGs・ESD 推進連絡協議会
- 8 月 22 日(日) or 29 日(日) e ラーニング教材制作協力者交流会
- 12 月 12 日(日) 北信越実践交流会(仮称)
- 1 月 事業の自己評価会
- 2 月 6 日(日)午後 北陸 ESD 推進コンソーシアム成果報告会 第 3 者評価委員懇談会